

1 本単元で人権教育を進めるにあたって

本単元は、児童に世界には様々な言語があることに体験的に気付かせ、英語を使って自分の名前を伝えたり挨拶したりすることに慣れ親しませるとともに、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成をねらいとする。

本単元で児童は初めて外国語活動に出会う。外国語活動では、世界の様々な言語や文化に体験的に気付かせていくことが大切である。その初めての単元で、世界にある様々な言語や挨拶に出会い、それを体験する活動を行うことで、多様なものの見方や考え方に気付かせる。

本学習では、児童が様々な言語での挨拶を体験する活動や、英語を使い名刺交換をする活動を通して、それぞれの国での挨拶や、自分と友だちの挨拶を比較させることによって、挨拶には、国が違って共通性があることや挨拶には国や人による相違点があることに気付かせたい。このことが違いを認め、互いに尊重する態度を育成することになり、多様なものの見方や考え方があるという多様性の概念の獲得につながる。

2 単元の目標

世界には様々な言語があることを知り、英語での挨拶や自分の名前の言い方に慣れ親しむとともに、積極的に挨拶しようとする。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

世界には様々な言語や挨拶があることを知り、挨拶のもつ共通性や国や人による相違点があることに気付き、多様なものの見方や考え方があることを理解する。(知識的側面)

4 指導のポイント

(1) 知的理解を図る上で大切にしたいポイント

- 全単元を通して、外国の文化や言語に違いがあることに気付きを重ねることで、多様性の概念の獲得につながるようにする。
- 世界のいくつかの挨拶を実際に体験する活動を行う。ここでは、特徴や違いに気付くようにする。また、感じたことを出し合い、自分たちの挨拶と比較することで、外国の文化や言語について児童の興味関心が高まるようにする。
- コミュニケーション活動を行う際には、相手を大切にすることが大事であることを適宜児童に伝え、みんなが心地よい雰囲気の中でコミュニケーション活動を行うことができるようにする。
- コミュニケーション活動を通して、友達の多様な挨拶の気付きを日常活動の中でも大事にすることで、学級における人間関係づくりに生かすようにする。
- 教室等にいろいろな国のことを知るコーナーの設置など、多文化共生の視点での環境づくりを行う。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

①自己存在感

コミュニケーション活動の前には、自分が使う英語を全体、班、ペアなど様々な学習形態の中で、楽しみながら練習する時間を十分に確保する。練習を通して、どの児童も自信を持ってコミュニケーションを図ることができるようにする。また、単元を通して1枚の振り返りカードを使用し、自分の成長を感じることができるようにする。

②共感的人間関係

名刺交換活動などのコミュニケーション活動では、相手の目を見ることや笑顔で活動することを大切にさせる。そのことで、全ての児童が学習の中で、「自分が受け入れられている」と実感できるようにする。

③自己選択・決定

コミュニケーション活動を振り返り、気付いたことや理解したことを交流し、互いの学びを深める時間を設定する。

5 学習の流れ

(1) 指導計画 (3時間取り扱い)

| 学習活動 | 人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等 |
|--|--|
| 1 世界の様々な言語や挨拶について知り、それを使って友だちと挨拶をする。 (本時) | ○世界の様々な挨拶と自分たちの挨拶を比較しながら活動することで、共通性や相違点に気付かせる。 |
| 2 英語での挨拶や自分の名前の言い方に慣れ、その英語を使って友だちと名前を伝え合う。 | ○名前を伝え合う活動では、どのようなことに気を付けて会話をすれば、気持ちのよいコミュニケーションになるかを考えさせる。 ・アイコンタクト ・クリアボイス ・スマイル など ○日本語と英語で表現は違って、相手を大切にすることは、同じであることを実感させる。 |
| 3 単元で学習した英語の表現を使い、好きなものと名前を記入し、名刺カードを用いて名刺交換活動を行う。 | ○挨拶の表現に十分に慣れ親しませることで、児童が積極的にコミュニケーション活動に取り組むことができるようにする。 ○名刺交換活動では、自分と友だちのコミュニケーションを比較しながら活動させることで、自分と友だちのコミュニケーションの相違点、更には互いのコミュニケーションの取り方のよさに気付かせる。 |

※コミュニケーション活動を行う際には、児童の一人一人の特性や実態を把握し、その状況に応じた活動の支援を行うなど、教育的配慮をする。


(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (1 / 3時間目)

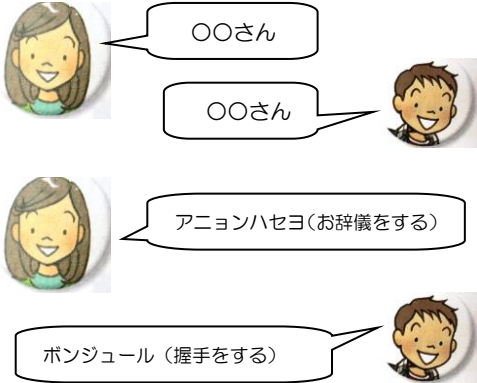
目標

◇世界の様々な言語の挨拶に興味を持ち、日本の挨拶との違いに気付く。

人権教育で育てたい資質・能力

◆世界には様々な言語や挨拶があることを知り、実際に体験することを通して、挨拶のもつ共通性や相違点があることを理解する。

| 主な学習活動 | ○指導上の工夫・留意点 評価◇◆ | 備考 |
|--|--|--|
| 1 簡単な英語を使い、挨拶する。 2 外国語活動における学習の目標を知る。 | ○簡単な英語で挨拶をすることで、外国語活動の雰囲気を作る。 ○外国語活動の最初の授業であるため、外国語活動の3つの目標(①言語や文化への体験的な理解②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成③外国語の音声や表現への慣れ親しみ)について話をするすることで、児童の外国語活動への学習意欲を高める。 | |
| 3 担任によるデモンストレーションを見て、本時の目標をつかむ。 | ○挨拶のよさについて確認させる。 ○日本語による挨拶場面と英語による挨拶場面を見せ、気付きを自由に出させることで、本時のめあてを引き出すことができるようにする。 | |
|  | <p>こんにちは。はじめまして。私の名前は〇〇です。よろしくお願いします。</p> <p>Hello. Nice to meet you. My name is 〇〇.</p> | |
| <p>世界の国々の言葉やあいさつを知り、日本とのちがいを探そう。</p> | | |
| 4 世界の様々な言語での挨拶を知る。 (1) Hi, friends! 1にある国について、知っていることを出し合う。 (2) デジタルコンテンツで各国の言葉や挨拶を知る。 | ○児童が知っていることを出し合わせることで、紹介する国への関心を高め、意欲的に(2)の活動へ取り組むことができるようにする。 ○挨拶を紹介する時には、ハグや頬にキス、鼻と鼻をこすり合わせる等の挨拶も紹介し、それぞれに意味があり、日本の挨拶と同様に大切な挨拶であることに気付かせる。 | Hi, friends! 1 4,5 ページのデジタルコンテンツ |

| | | |
|--|---|--|
| <p>5 世界の様々な言語で友だちと挨拶をする。</p> <p>(1) 担任と児童で、デモンストレーションを行う。</p> <p>(2) 日本語、韓国語、ヒンドゥー語、フランス語、英語での挨拶の際は、ジェスチャーを付け練習する。</p> <p>(3) あいさつカードに書かれた言語で友だちと挨拶をする。カードを交換して、複数回繰り返す。</p> <div data-bbox="172 884 651 1265" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <p>(4) 活動を通しての気づきを振り返りシートに記入し、発表する。</p> | <p>○デモンストレーションをする際には、クリアボイス、アイコンタクト、スマイルを意識し、活動する児童のよいモデルとなるようにする。</p> <p>○それぞれの国の言語や挨拶をする際のジェスチャーを比較しながら練習させ、その特徴や違いを意識させる。</p> <p>○挨拶を丁寧にすることは、相手やその国や尊重することにつながることを知らせ、外国の文化や言語に興味を持たせるようにする。</p> <p>○雰囲気や和らげるために、挨拶をする前に、ハイタッチなどして名前を呼びあうようにする。</p> <p>○ジェスチャーは、間違えてもその国の尊重しようとしている姿を認めるようにする。</p> <p>○それぞれの言語で挨拶をしてみて感じたことや相違点を出し合えるようにする。</p> <p>○はっきりと発話して挨拶していた児童の例を他の児童にも紹介し、気づきを出し合うことができるようにする。</p> <p>◇◆挨拶のもつ共通性や世界の様々な言語の挨拶と日本の挨拶との相違点について気づきを書いている。</p> | <p>あいさつカード</p> <p>あいさつカード</p> <p>振り返りシート</p> |
| <p>6 本時のまとめ</p> | <p>○振り返りシートで自己評価をさせ、児童の様子等についてよかったところを具体的に挙げて確認することで、児童の次時への意欲を高めるようにする。</p> | <p>振り返りシート</p> |

6 資料

○文部科学省「Hi, friends! 1」

Lesson 1 Hello! 「世界のいろいろな言葉であいさつしよう」 pp. 2～7

○文部科学省「Hi, friends! 1 デジタル教材」

参考資料

＜あいさつカード例＞



※「Hi, friends! 1」 p p. 4～5に掲載されている国の中から作成。

＜使用する言語と挨拶の例＞

| 言語名 | 挨拶の言葉 | ジェスチャー |
|--------|---------|---------------|
| 日本語 | こんにちは | お辞儀をする |
| 韓国語 | アニョンハセヨ | お辞儀をする |
| ヒンドゥー語 | ナマステ | 両手を合わせてお辞儀をする |
| フランス語 | ボンジュール | 握手をする |
| 英語 | ハロー | 握手をする |

振り返りカード例

外国語活動振り返りカード Lesson 1 世界のいろいろな言葉であいさつしよう

5年()組()番 ()

◎よくできた ○できた △もう少し

| 月/日 (曜日) | ①めあてを意識して 取り組みましたか。 | ②友だちと積極的に会話を しましたか。 | ③習った言葉をたくさん 使いましたか。 | ④日本や外国のことにつ いて、気が付きましたか。 | 感想 (自分がかんばったこと 友だちのがんばりやよさ 日本と外国のくらしや習慣 活動で気付いたこと など) |
|-------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------------|---|
| / () | | | | | ○世界のいろいろな言葉やあいさつと自分たちのあいさつを比べて気付いたことを書きましょう。 |
| / () | | | | | ○英語のあいさつの仕方や名前の言い方について思ったことや考えたことを書きましょう。 |
| / () | | | | | ○友だちと名し交かん活動をして、気付いたことや思ったことを書きましょう。 |
| ☆Lesson 1 の学習で学んだことや心に残ったことを書きましょう。 | | | | | |